

単元名 生活を豊かにするために

配当時間 10 時間

単元の目標 (1) 製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。
 (2) 製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付けることができる。
 (3) よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする

標準的な展開

15290106_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 身近にある布を使った製品を観察して、学習課題をつかむ。 ★布を使って生活が豊かになる物を考えよう。 ○生活の中であると思う物を考える。 ・カバー類 ・ウォールポケット ・バッグ ・衣服</p> <p>2 布を使った物の製作計画を立てる。 ★作る物を決め、製作計画を立てよう。 ○生活場面での活用方法を考え、作る物を決める。 ・ファイルカバー ・トートバッグ ・ブックカバー ・防災リュック ・ハーフパンツ 等</p> <p>○製作の手順を考え、製作計画を立てる。</p> <p>3 製作のための準備をする。 ★用具の扱い方や作業の仕方について知ろう。 ○製作に向けて必要な事項をまとめる。 ・計測と型紙の選び方 ・布の選び方 ・用具、機械の準備と使い方 ・裁断の仕方 ・しるし付けの仕方 ・まち針の打ち方 ・ミシン縫い 等</p> <p>4～9 計画に従って製作する。 ★計画に従って〇〇〇（作品名）を作ろう。 ○型紙を配置する。 ○縫い代をとり、布を裁断する。 ○仮縫いをする。 ○本縫いをする。</p> <p>○仕上げる。</p> <p>10 持続可能な衣生活について考える。 ★持続可能な衣生活の課題と解決策を考えよう。 ○資源や環境と衣服との関わりを知る。 ○資源や環境に配慮した衣生活の工夫について考える。</p>	<p>・補修の技能を生かした製作品を考えさせる。</p> <p>・室内の整理整頓や美化に役立っている布の製品や自分の衣服を持ち寄り観察させる。その中で、基本的な構成に気付かせる。</p> <p>・計画内容を確認し、安全で能率よく実践できるよう、今後の学習の見通しをもたせる。</p> <p>・完成後に活用することにより自分や家族の生活がより豊かになるような物を設定する。その際、生徒が製作の目的を明確にもつことができ、生徒の個性や工夫が生かせるよう配慮する。</p> <p>・補修の技術を生かしてできる作品を扱うこととする。</p> <p>・生活に必要な材料や用具、製作手順や時間などの見通しをもたせる。</p> <p>【評】製作計画を立てる活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・手縫いやミシン縫い、アイロンなど基礎的・基本的な知識や技能を活用させる。</p> <p>【評】製作に必要な基礎的事項をまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・製作を通して、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感させるとともに、成就感を味わわせる。</p> <p>・ミシンの操作については、姿勢や動作が作業の正確さや能率に関係することや、作業環境の整備が安全に影響することなどを知らせ、留意させる。</p> <p>・アイロンの取り扱いについては、使用中は火傷などに留意させ、使用後の点検を確実に行う。</p> <p>【評】布製品を製作する活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・衣生活の自立に向けて、自分にできることを具体的に考えさせる。</p> <p>・衣服の生産から廃棄までの流れを押さえ、衣服の活用について考えられるようにする。</p> <p>・衣生活が環境に与える影響から、衣服の着方の工夫や手入れの方法について考えられるようにする。</p> <p>【評】資源や環境に配慮した衣生活について考える活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】